

4 学校近況報告

(1) 教務部

昨年度に引き続き、「生徒による授業評価」を組織的に実施しており、教員の授業力の向上で魅力ある授業を行い、生徒の学習意欲の向上へ繋げていこうと努力しております。また今年度も昨年度に引き続き、教員の授業力向上を目的とし、「グループ学習」を取り入れた授業を研修テーマに生徒が自主的に学習を行う授業のあり方を4人の教員が実践し、いずれかの授業を全教員が参観します。また高大接続事業による大学入試の变革やそれに伴う新しい教育課程編成についても検討中で、今後も校内研修会などで本校の抱える課題を出し合い、指導方法の改善・充実について議論しています。

各学年の状況

- 1年 (1) 平日の授業以外の平均学習時間(10月基準) 目標 3.0時間 実績 1.92時間
 前回(2.31時間)より大幅に減少。学習時間1時間以下が23.5%。
 (2) 次年度(2年生)の文理希望状況(第2回進路希望調査の学部別志望で傾向を見ると)
 理系201名(第1回調査は192名) 文系118名(第1回調査は129名)
- 2年 (1) 平日の授業以外の平均学習時間(10月基準) 目標 3.5時間 実績 2.09時間
 前学年(2.14時間)よりやや減少。学習時間1時間以下が16.9%。
 (2) 次年度(3年生)の文理選択状況
 理型178名/文型137名(現3年のクラス編成:理型162名/文型149名)
 1月下旬より数学の文理分け展開授業を開始予定
- 3年 (1) 平日の授業以外の平均学習時間(10月基準) 目標 4.0時間 実績 4.12時間
 (2) ほとんどの科目で大学入試に向けた演習等を実施し実践力アップを図っています。

(参考) 家庭学習の状況

		1年		2年		3年	
		5月	10月	5月	10月	5月	10月
H26年入学生 (卒業生)	平均(時間)	2.20	2.09	2.29	2.12	2.66	4.40
	1時間以下(%)	14.7	21.4	12.1	14.7	7.2	1.9
	3時間以上(%)	9.7	13.1	14.0	9.4	25.6	88.9
H27年入学生 (卒業生)	平均(時間)	2.75	2.40	2.22	2.14	2.67	4.40
	1時間以下(%)	2.8	8.8	13.2	14.9	8.1	1.9
	3時間以上(%)	26.6	16.9	10.4	10.1	22.6	91.9
H28年入学生 (現3年生)	平均(時間)	2.48	1.91	2.22	2.14	2.67	4.12
	1時間以下(%)	6.6	24.4	13.5	16.6	6.8	1.9
	3時間以上(%)	16.1	7.2	10.0	9.9	26.1	82.9
H29年入学生 (現2年生)	平均(時間)	2.26	1.91	1.98	2.09		
	1時間以下(%)	10.6	26.5	13.5	16.9		
	3時間以上(%)	12.5	7.5	10.0	11.9		
H30年入学生 (現1年生)	平均(時間)	2.31	1.92				
	1時間以下(%)	8.4	23.5				
	3時間以上(%)	14.6	7.8				

前期の成績状況(9月26日・成績会議の状況)

- ① 成績優秀者(平均8.0以上)…1年(82名)/2年(68名)/3年(91名)、全体の約26%
- ② 成績不振者(評価1を有するもの)…1年(2名)/2年(6名)/3年(2名)

(2) 進路指導部

本年度の指導の重点に関する状況報告と、今後の課題について

- 【重点目標】
- 1 進路を適切かつ早期に決定できるように、常に啓発に努める。
 - 2 進路目標の実現のために、具体的な対策(講習、模擬試験、小論文指導等)を講じる。
 - 3 進路や学力に関するデータを分析し、進路情報等を生徒や保護者に適切に提供する。
 - 4 大学入試改革を受け、本校進路指導の点検と改善を行う。

【現状】

- 1 進路通信は定期的に発行され、生徒が見通しを持って進路選択や学習に取り組めるような内容で、啓発に努めている。
- 2 夏期講習受講状況は1年99%(昨年比 同)、2年86%(昨年比 -3%)、3年89%(昨年比 +5%)となっている。
- 3 各方面の協力をいただき、様々な啓発活動が行われている。
- 4 2021入試(現1年生の受験)に関する情報が主要大学から出されておらず、具体的対応がとりにくい状況にある。

【課題】

- 1 各学年で塾・予備校利用者が年々増加傾向にある。
- 2 せっかく講習を受講しても、受け身になりがちな生徒がいる。安易な欠席者が目立つ。

【改善に向けての方策】

- 1 塾・予備校利用者へは、学校の授業・課題への取り組みが大前提であること、プラスαの学習として活用するよう指導していく。
- 2 講習を受講したからには授業同様、真剣に取り組ませる指導を徹底する。3年生夏期Ⅲ期の日程の設定に工夫が必要。
- 3 キャリア教育の観点からも、各種体験活動への参加を促す。

進路の状況について

1. 進路希望調査結果(第1志望の集計 11月実施)

学年	在籍	国公立大学			私立大学			短大 専門学校	準大等	就職	未定等
		道内	道外	計	道内	道外	計				
1年	321	232	81	313	1	4	5	1	0	0	2
昨年	319	221	84	305	0	8	8	1	4	0	1
一昨年	320	242	59	301	3	13	16	0	0	0	3
2年	319	205	92	297	11	1	12	1	3	0	6
昨年	318	202	92	294	0	15	15	0	2	0	5
一昨年	316	207	94	301	1	12	13	1	1	0	0
3年	311	181	89	270	4	34	38	0	1	0	2
昨年	316	146	125	271	2	39	41	2	1	0	1
一昨年	318	162	120	282	3	27	30	3	1	0	2

2. 学部別希望者数

	文	法	経済	商	教育	外国語	体育	芸術	他	文系計
1年	32	16	20	5	22	7	4	1	11	118
2年	40	21	36	6	11	4	0	3	16	137
3年	31	19	43	14	17	7	0	6	11	148

	理	工	農水	薬	獣医	医	歯	保健医療	他	理系計
1年	58	52	4	20	3	25	3	26	10	201
2年	41	42	12	5	1	31	5	22	18	177
3年	34	52	6	8	5	16	1	24	15	161

3. 道内国公立大学の希望者数

	北大	道教大	樽商大	北工大	室工大	帯蕃大	札幌大	旭医大	函未大	札市大	釧公立
1年	200	13	5	0	1	1	9	2	0	1	0
昨年	183	10	4	0	0	0	20	3	0	1	0
一昨年	218	8	6	0	0	1	6	2	0	1	0
2年	163	5	7	0	0	1	24	3	0	1	0
昨年	171	6	4	0	0	3	13	3	1	1	0
一昨年	192	4	1	0	1	0	9	0	0	0	0
3年	140	7	8	0	1	3	15	5	1	1	0
昨年	125	1	4	0	0	1	6	4	1	3	0
一昨年	121	8	7	0	1	0	20	4	0	1	0

* 3年生の主な希望大学(かっこ内は昨年の希望者数)

東京大	2(7)	京都大	8(15)	大阪大	7(11)	医学部	16(20)	早稲田大	16(18)
一橋大	3(2)	東工大	5(2)	東外大	3(2)	東北大	4(19)	慶応大	1(4)

4. 家庭学習状況(11月調査)

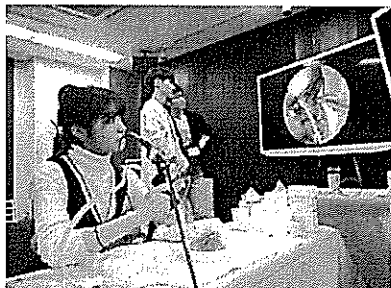
学習時間	～0.5	～1.0	～1.5	～2.0	～2.5	～3.0	3.0～
1年	6.6%	16.9%	21.9%	24.1%	13.5%	8.5%	7.8%
昨年	8.2%	18.2%	18.9%	21.4%	17.6%	8.2%	7.5%
一昨年	7.2%	17.2%	23.5%	20.7%	13.2%	11.0%	6.6%
2年	4.5%	12.4%	24.2%	20.1%	19.4%	7.6%	11.9%
昨年	5.4%	11.2%	16.0%	24.3%	21.7%	11.5%	9.5%
一昨年	3.2%	11.7%	20.9%	20.9%	21.2%	12.0%	10.1%

5. 平均家庭学習時間(時間)

	1年5月	1年11月	2年5月	2年11月	3年4月	3年11月
1年	2.31	1.92	/	/	/	/
2年	2.26	1.91	1.98	2.09	/	/
3年	2.48	1.91	2.22	2.14	2.67	4.31
卒生	2.75	2.40	2.22	2.14	2.67	4.40

6. センター試験出願状況

	出願数	出願率
30年度	306	98.4%
29年度	313	99.1%
28年度	312	98.1%
27年度	309	97.5%



11/10 北海道大学医学部 臨床体験セミナー



11/13 1・2年生 進路講演会(不可能立体を数学で解き明かす)

(3)生徒指導部

《重点目標》

(1) 交通安全をはじめ基本的な生活習慣を定着させる指導が全校的に行われるよう努める。

【目標指標】 1 自転車事故が、連続 50 日以上 0 件となるよう指導にあたる。

(2) いじめの未然防止に向け、情報リテラシーの育成や早期発見のための指導体制の構築に努める。

【目標指標】 2 いじめ防止委員会と生徒指導部との連携。

(3) SNS を適正に利用させるために、情報モラルを身につけさせ、コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に利用させることができるよう、指導に努める。

1 学校全体の生活状況

落ち着いて生活しています。

冬に入り、登校手段を自転車からバス、地下鉄等に切り替えた際、雪による遅延で遅刻する生徒が増えます。時間に余裕を持ち、家を出るよう指導していますが、ご家庭でもご指導よろしくをお願いします。

2 いじめ防止

いじめを未然に防止し、早期に発見するため、毎月一回以上いじめに関する情報交換を行っています。

また、年 2 回(5、10 月) 道教委指導による「いじめアンケート調査」も実施しています。

3 交通安全（特に自転車）

11 月現在、報告されているもので、1 年生 1 件、2 年生 2 件、3 年生 1 件、合計 4 件の交通事故が発生しています。軽い事故で報告のないものも含めると、もう少し多くの事故が起きているものと考えられます。今年度は、例年に比べると少なかった印象があります。交通安全に関して少しでも意識を持ってくれたと考えています。

また、生徒会、PTA、山の手町内会、西警察署等と連携し、年間を通じて交通安全街頭指導を行い、交通事故防止にも努めてきました。

被害者だけでなく、加害者になる可能性もありますので、自転車の乗り方に関しては指導しているところではありますが、ご家庭でもご指導よろしくをお願いします。

4 SNS の適正利用

スマートフォン等で、多くの生徒がツイッター、インスタグラム、LINE などの SNS を利用しています。正しく利用するよう指導していますが、ご家庭でもご指導よろしくをお願いします。

なお、道教委、警察、ネットパトロール運営会社と連携し、不適切な書き込みがないか監視し、あった際には指導しています。近年、不適切な書き込みに多く見られるのが、個人情報の公開です。自身のプロフィールに、名前、顔写真、学校名、年・組、部活動名を公開しています。西高生も 11 月上旬まで 21 件、ネットパトロール運営会社より連絡をいただいています。いずれも自身の個人情報の公開です。

ネット社会の怖さを知らない生徒が多く、今後も指導を続けていくところです。

部活動大会成績について

a 体育系【2018年11月20日まで】

部活動名	活 動 状 況
男子バスケボール部	◎春季大会 札幌地区 7位 ◎高体連 札幌支部大会 ベスト16 ◎選手権大会 札幌地区 ベスト8 全道大会出場
女子バスケボール部	◎春季大会 札幌地区 決勝トーナメント進出 ◎高体連 札幌支部大会 ベスト16 ◎秋季新人大会 札幌地区
男子バレーボール部	◎札幌支部春季大会 決勝トーナメント進出 ◎札幌支部高体連 決勝トーナメント進出
女子バレーボール部	◎札幌支部春季大会 決勝トーナメント3回戦進出 ◎高体連 札幌支部大会 決勝トーナメント進出 ◎選手権大会 石狩支部 6位 全道大会出場 ●高校選手権 北海道予選 2回戦進出
男子バドミントン部	◎春季大会 団体戦2部リーグ3位 個人戦W2回戦進出、S3回戦進出 ◎高体連 個人Sベスト16 ◎選手権 W3回戦進出、S4回戦進出 ◎道選手権 個人戦W3回戦進出、S4回戦進出 ◎秋季団体戦 西ブロック男子2部 6位
女子バドミントン部	◎春季大会 団体戦4部リーグ2位→3部昇格 個人戦W3回戦進出 ◎選手権 団体戦2回戦進出 ◎道選手権 個人戦W2回戦進出、S3回戦進出 ◎秋季団体戦 西ブロック女子3部 4位
卓 球 部	◎高体連 札幌支部大会 個人W 1組ベスト16 ●全道大会 個人Wベスト16 ◎国体予選 北海道予選 S4回戦進出 ◎秋季新人選手権 予選リーグ2位 決勝リーグ(H30.11.11)に進出
弓 道 部	◎高体連 《男子》団体7位、個人11位 ●全道大会 《男子》団体決勝トーナメント進出ベスト8 個人決勝進出3位
男子テニス部	◎春季大会 札幌支部 団体3回戦進出、個人S 優勝・ベスト16 個人W4位 ◎高体連 札幌支部 団体3位、個人W優勝・7位、個人S戦3位・6位他1名 全道大会出場 ●全道大会 団体3位、個人W優勝・準優勝、個人S3位 ■全国大会(三重県)出場 個人W・S2回戦進出 ■国体 個人S出場 *道代表の旗手を務める ◎秋季大会 札幌支部 団体6位、個人S3位、個人Wベスト16 全道大会出場 ●全道大会 団体ベスト8 個人Wベスト8 個人S準優勝
女子テニス部	◎春季大会 札幌支部大会 団体5位、個人W4位、個人Sベスト16 2人 ◎高体連 全道大会 団体6位、個人W2組、個人S2人 ●全道大会 団体ベスト8、個人Wベスト8・16、個人S2回戦進出 ◎秋季大会 札幌支部 団体3位 個人Wベスト16 2組 個人Sベスト12 全道大会出場 ●全道大会 団体3位 個人W3位
ソフトテニス部	●高体連全道大会 団体3回戦進出、個人3回戦進出 ●ハイスクールジャパンカップ ダブルス第5代表 全国大会出場 ■全国大会 2回戦出場 ◎国体予選 札幌支部 個人ベスト16 ●全道大会出場 ◎市民大会 個人戦優勝 ◎新人戦 札幌支部 団体戦3位 個人戦Wベスト8 Sベスト16 全道大会出場 ●全道大会 団体戦はH30.02.04北海道立体育館で実施予定、個人戦Sベスト16
男子ハートボール部	◎札幌支部春季大会 決勝トーナメント進出(ベスト8)
女子ハートボール部	◎札幌支部春季大会 準優勝 ◎高体連 札幌支部大会 準優勝 ●全道大会 2回戦出場
陸上競技部	◎高体連 札幌支部 《男子》5000M9位、3000MSC14位、400M7位 《女子》3000M15位 ●全道大会 《男子》3000MSC14位、400M7位、5000M9位、4×100MR12位、4×400MR9位 《女子》3000M15位

	<p>◎新人大会 《男子》5000M13位、やり投げ8位、800M12位、1500M12位、3000MSC2位、5000M4位、800M3位、4×100MR16位、4×400MR8位 《女子》100MH7位、800M11位、1500M12位、1500M16位、走幅跳9位 以上全道大会出場</p> <p>●全道大会 《男子》3000MSC7位</p>
水 泳	<p>◎札幌支部選手権 《個人》1500M自由形3位・400M個人メドレー5位、50M自由形12位、50M自由形5位・100Mバタフライ2位、100M自由形16位・200M自由形・100Mバタフライ2位自由形8位、100M自由形11位・200M自由形5位、100M自由形14位・200M自由形15位、100M平泳ぎ9位・200M平泳ぎ7位、100Mバタフライ1位・200Mバタフライ1位、200M個人メドレー10位・100M平泳ぎ19位 《団体》女子400MFR4位、男子400MFR3位 以上全道大会出場</p> <p>●全道大会 100Mバタフライ優勝・準優勝、200Mバタフライ優勝、女子400Mフリーリレー5位、男子400Mフリーリレー4位 以上全国大会出場</p> <p>■全国大会 100Mバタフライ49位・51位、200Mバタフライ46位</p>
剣 道	<p>◎段別大会 《男子》3名《女子》1名 ●全道大会出場</p> <p>◎新人大会 女子団体Ⅱ部 第3位 ●全道大会出場</p>

b 文化系【2018年11月20日まで】

部活動名	活 動 状 況
放 送 局	<p>◎NHKコンテスト 石狩地区 フォクス部門当番校枠、朗読部門9位入選、テレビドキュメント部門当番校枠、創作テレビドラマ部門5位入選 以上●全道大会出場</p> <p>◎高文連 石狩支部 朗読部門6位、8位 以上●全道大会出場</p>
囲 碁・将 棋 部	<p>《囲碁》●高文連 全道大会 個人Aクラス準優勝 ■全国大会（文部科学大臣杯選手権大会 東京）出場 2勝1敗で決勝トーナメント出場ならず</p> <p>◎高文連秋季大会 石狩支部 個人戦準優勝 《将棋》◎高文連秋季大会 石狩支部 個人戦準優勝、第7位、第18位 全道大会出場</p> <p>●全道大会 個人戦 スイス式トーナメント6回戦出場</p>
写 真	<p>◎高文連 石狩支部 入選2名 全道大会出品 ●全道大会 1名入選（全出品作品のうち上位1割に相当）</p>
文 芸 部	<p>◎高文連文芸研究大会 支部大会 小説部門佳作、俳句部門優秀賞 部誌部門 以上全道大会推薦</p> <p>●全道大会 小説部門入選、俳句部門優秀賞、部誌部門銀賞 ■全国大会 全国高等学校文芸コンクール「小説」部門佳作</p>
美 術 部	<p>◎高文連石狩支部美術展 2名全道大会出場 ●高文連全道美術展・研究大会 全道優秀作品1名</p>
書 道 部	<p>◎高文連石狩支部書道展 7名全道大会出場 ●高文連全道書道展 1名文化連盟賞</p>
化 学 部	<p>●高文連全道理科研究発表会 化学部門総合賞、ポスター展示部門優秀ポスター賞・ポスター賞</p>
物 理 研 究 部	<p>■総文祭 文化連盟賞 ●全道理科研究発表会出場</p>
鉄 道 研 究 部	<p>■全国高等学校鉄道模型コンテスト 製作2名・参加製作1名 努力賞</p>
軽 音 楽 部	<p>◎新人大会 支部大会 優秀賞 ●全道大会出場</p>

(4)特色ある教育推進部

1. 「ポストSSH」の取り組み

5ヶ年間実施したSSH（平成24年度指定スーパーサイエンスハイスクール研究開発事業）の取り組みは、昨年度末をもって終了。指定事業はなくなりましたが、これまで培ったノウハウを生かし、今年度は進路指導部・理科の協力のもと以下の事業を実施しました。

- 三角山巡検
- 西高理科実験教室（小学生向け）
- OSS キャンプ地学（苫前・留萌）
- OSS キャンプ物理（J-PARC, KAGRA）
- 科学に関する特別講義（調整中）
- 東大訪問（調整中）
- SS 進路講演会
- 地域医療体験（札医大）
- 地域医療体験 TEMP（旭医大）
- 北大研究室訪問

2. 国際交流活動の取り組み

- ヨーロッパ方面 アイルランド研修 4年目 13日間 15名派遣予定
イギリス短期研修（ISA企画） 7日間 1名派遣
- アジア方面 シンガポール研修 2年目 9日間 12名派遣予定
韓国研修（JENESYS2018） 7日間 14名派遣
- 外郭団体企画などへの応募
 - ・日韓高校生交流キャンプ（JENESYS2018） 1名参加
 - ・トビタテ！留学 JAPAN 高校生日本代プログラム第4期（文部科学省） 応募開始
 - ・道産子高校生ロサンゼルス・ホームステイ・プログラム（北海道教育委員会） 応募開始
- その他の研修について
 - ・海外研修等報告会…4月23日、各研修に参加した生徒が研修内容を報告
 - ・西高グローバルセミナー…第1回：5月11日、生徒保護者86名参加（昨年66名）
第2回：7月25日、生徒保護者113名参加（昨年100名）

3. 総合的な学習の時間における「探究活動」の推進

1～2学年の「総合的な学習の時間」において、探究活動を実施しています。1学年は各クラス内で複数のグループに分かれ、それぞれ定めた探究テーマについて議論を重ねながらのグループ探究、2学年は昨年度の探究活動で培ったものをベースに個人探究を行っています。すでに分かっていることを調べる「調べ学習」とは違い、「探究活動」は分かっていることを調べることに大きな違いがあります。1年生のうち、西高生ならではの個々の自由で柔軟な発想、グループで学び合うことで、課題発見・仮説をたてることを目標とし、2年生はこれまでの集大成として個々人が選んだテーマを探究し、論文にまとめる作業を行っています。探究活動をとおして、「誰もがわからないことに」挑戦する力を伸ばしていきます。

4. 図書・視聴覚機材の充実

- 毎月、およそ100冊を選書・購入
- 図書館は「探究的な学習」「調べ学習」の場としても活用

(5)1 学 年

○探究活動

10月より始まった「探究活動」で自分の興味・関心がどれだけ深いものなのか、本当にその道に進みたいのかを自問自答しながら考える時間を作っています。その影響もあるのか、そろそろ真剣に進路を考える生徒が増えてきております。10月23日に第2回進路希望調査が行われました。希望先では5月の調査より6名減りましたが、やはり北海道大学(200)が圧倒的に多い状況です。また、道外の国公立大学を志望している生徒は5月の調査より4名減り80名になりました。

今後、「自分を知る」ための様々な体験学習やオープンキャンパス等への積極的な参加を呼びかけたいと思います。「探究活動」は来年の10月まで続きます。最終的に自ら考え、判断し、行動できる人間に成長していることを期待します。



○学習時間激減。平日2時間を切る…奮起を期待。

併せて調査した学習時間(平均1時間55分)ですが、前回(平均2時間18分)の調査から大幅に減っている状況で、特に一日30分以下しか確保できていない生徒が増加しており今後が大変心配であります。1年次は全ての学習の基礎となる国数英の土台作りが最も大切な時期です。上級学年になればなるほど、求められる知識やそれを活用する場面は多様化していきます。先を見通して、今やるべきことを決して先延ばしせず、着実に学習に取り組んでいくよう、各HRや授業などで強く訴えているところです。

○2年次科目選択について

6月に調査した2年次の科目選択ですが、11月22日までに、変更の手続きを終了しました。本校では、ホームルーム単位での文理分けは2年次では行われませんが、選択した科目によって3年次における文理の方向性はほぼ決まります。

【6月調査】文系85名、理系236名 → 【今回調査】文系118名、理系197名(未定6)

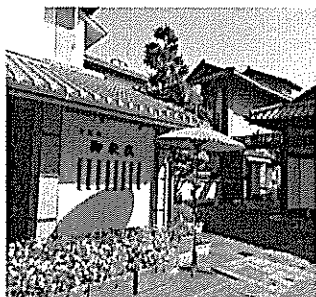
○宿泊研修について

来年2月2日(土)から2泊3日の日程で、トマムスキー場にて宿泊研修が行われます。先日保護者の方々にはPTA懇談会において概要を説明いたしました。本研修を通して生徒の自主性を育てていきたいと考えております。これから具体的な準備が始まります。

(6) 2 学 年

①見学旅行

10月14日(日)～18日(木)の5日間、最大行事である見学旅行に行ってきました。全日程天候に恵まれ、体調を崩す生徒もほとんどおらず、1月の宿泊研修のような流行病もなく無事に帰ってきました。東京1泊、京都2泊、大阪1泊と3つの宿泊施設を利用しましたが、どれも立派で40年前に比べると考えられな



い待遇でした。特に京都の宿泊施設「聖護院御殿荘」は重要文化財の「書院」があり、京都ならではのおもてなしを受け、生徒も満足したのではないのでしょうか。また、大阪の「モンテグラスミア大阪」も高級ホテル感があり、ホテルまでのアクセスもありすぎて近くまで来ているのにたどり着けない生徒もいました。いずれにせよ、この5日間は普段味わうことのできない貴重な体験をしたと思います。何が一番といわれれば、友達と過ごした5日間ではないのでしょうか。一生忘れない楽しい思い出として胸にしまっておいてください。



②学習と進路

見学旅行明けの週の火曜日に学年集会を開きました。見学旅行が終わるといよいよ受験生モードに切り替えていかなければなりません。その切り替えを促すために、進路指導部の井原先生より「のこり半分の西高生活をどう過ごす」という題で話をしてもらいました。

1. 10年後、君に仕事はあるのか？

人工知能、グローバル化、就活の地殻変動・・・仕事が削減していく社会で未来を生きるために「稼げる大人」になるにはどうすればよいか。そのための「生きる力」について訴えました。

2. 生徒全員に配布してある「進路の手引き」の合格体験記をもう一度読み直すことで、

- ・目標の再確認
- ・自分の勉強の再確認
- ・自分の生活リズムの再確認

この3つのことを促しました。特に、目標を再確認することで3年次の科目選択も変更しなければなりません。担任との面談で、上記3つについて真剣に自分の考えをぶつけてみてほしいと思います。

③探究活動

1年次より実施している探究活動がいよいよ終盤にさしかかりました。1年次はポスター発表で終わりましたが、2年次は論文作成まで行い、クラス内発表後、優秀論文は12月に全体発表となります。この2年間で自ら考え、調べ、挫折し、更に考え・・・という一連の流れを今度は受験に活かしてほしいと思います。

(7)3 学 年

◆ 3年生の概況 ◆

センター試験まであと 51日。登校日数 20日。

- ・最後の学校行事である炊事遠足を終え、夢中になって机に向かっている日々が続いています。放課後も各クラス5～10名程度の生徒が19時まで教室や講義室で居残り勉強しています。
- ・1・2年で不足していた勉強時間を取り戻すべく、平均4.31(10月)時間。
- ・センター出願 306名(文144、理162。311名中)

課題は言語系、理科・社会の完成。

- ・過去5年間と比較して、数学についてはますますの成績といえます。他教科はこれから一気にのびてきます。理科・社会の完成がカギとなります。

推薦入試・AO入試

- ・指定校推薦では、早稲田(政経)・(商)・(法)・(文化構想)・(文)、立教(文)、明治(商)、首都大東京(経済経営)に各1名出願。
- ・一般推薦では、札幌医科大(医)に4名・(看護)に1名、札幌市立大(看護)に1名、山形大(工)に1名、新潟大(経済)に1名、帝京大(医)に1名、藤女子大(食物)・(保育)に各1名出願。
- ・AO入試には、北大(看護)・(水産)に各2名、旭川医大(医)に4名、東北大学(工)に1名、横浜国大(工)に1名出願。
- ・このあと第七回推薦会議を経て、小樽商大等の一般推薦へのエントリーがされます。

受験校調査(10月30日実施)

- ・北海道大学への出願予定者は、140名。(H29卒125名)
- ・東大2名、京大8名、東北大4名、一橋大3名、東工大5名、横浜国大7名、阪大7名、神戸大10名、筑波大3名、千葉大5名、首都大東京6名、小樽商大8名、道教育大7名、札幌医大(医)5名、旭川医大(医)5名、早稲田16名、海外の大学1名

◆ 今後の行事予定 ◆

12月25日(火) 学年集会	2月25日(月) 国公立大学前期試験開始
1月8日(火) 直前演習(～9日)	2月28日(木) 登校日
1月16日(水) 始業日	3月1日(金) 卒業式
1月19日(土) センター試験(～20日)	3月6日(水) 国公立大学前期試験合格発表開始
1月21日(月) センター試験自己採点	3月12日(火) 国公立大学後期試験開始
1月22日(火) 2次講習・小論・面接指導開始	
1月28日(月) 登校日	

◆ おわりに ◆

一人でも多くの生徒が第1志望校に合格できるよう、2次試験が終わるまで学年団全員で、しっかりと励ましていきます。西高を支える5団体の皆様には、心より感謝申し上げます。3年間ありがとうございました。

(8)健康指導部

《重点目標》

- (1) 生徒が心身共に健康に生活できるよう、衛生的かつ安全な環境の維持・管理に努め、健康管理と美化意識に関する啓発に努める。
- (2) 保健委員会を中心とした、生徒の主体的な活動を促すよう努める。
- (3) 教育相談体制を充実させ、生徒のメンタルヘルスの維持向上に努めるとともに、教育相談についての研修を深める。
- (4) 避難訓練等、防災に関する整備と指導を行い、防災意識の向上に努める。

【目標指標】「いじめ防止委員会兼生徒支援会議」8回開催

1. 本年のこれまでのおもな活動

- (1) 健康安全に関する情報提供（保健だより：11月現在、No10）
- (2) 入念清掃（4/9、7/25、8/20、9/28）戸外清掃も行っています。
- (3) 行事の際の清掃（運動会、西高祭、学校見学会）
- (4) 救急救命講習会（6/8 応急処置法・AEDの使用法について講習を実施、44名参加）
- (5) 避難訓練（9/20実施。火災を想定した訓練を実施）
- (6) ゴミ減量活動（ペットボトルキャップ等 随時実施）
- (7) 避難シューター体験（9/6 生徒10名）胆振東部地震のため中止。
- (8) 蒸発皿の配布（クラスのボイラーの上に設置する蒸発皿の配布 10/31）
- (9) 生活習慣と健康に関するアンケートを実施（1・2年生対象 10月～11月）
自己管理能力の育成を目指した保健指導への活用を目的として。
- (10) 保健委員会啓蒙活動
生徒による避難訓練アンケート調査を実施
液体ハンドソープの設置（生徒による補充）
生徒による「すこやか」発行（11月現在、No3）
- (11) 学校環境衛生検査（照度及び照明環境 10/19）
- (12) 教育相談（スクールカウンセラーによるカウンセリング。教育相談室他での教員対応）
①スクールカウンセラーの今後の来校予定日・時間
12/14(金) 1/25(金) 2/15(金) 3/15(金)の14:00～17:00
②教員による教育相談
毎週月曜～木曜の昼休みと放課後に教育相談室で教員が相談を受ける体制をとっています。
- (13) いじめ防止委員会兼生徒支援会議の実施（4/26、6/1、8/31、10/5、11/9実施）
今後の開催予定（12/14、2/1、3/15）
上記の会議の他、毎月の健康指導部会で気になる生徒の情報共有を行っています。

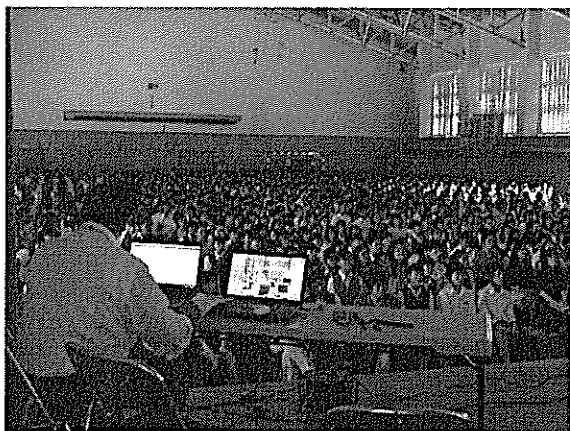
2. 保健室より

- (1) 保健室利用状況について
例年、9～10月は季節の変わり目で体調を崩す生徒が多く見られますが、今年は気候が穏やかなこともあり、生徒の保健室来室は落ち着いています。
- (2) 災害共済給付制度（日本スポーツ振興センター）について
これは、学校管理下で生徒の災害が発生したときに、災害共済給付を行う制度です。本校では、継続も含め年間300件を超える給付請求手続きを行っております（平成29年度は358件）。
給付を受けるためには、「災害報告書」や医療機関で証明された「医療等の状況」など、各種の書類が必要です。ここ数年、書類がなかなか提出されない、書類に不備があったため再請求するなどということが多く、その結果、給付の大幅な遅延や時効による請求権の失効が起きています。

(9) 総務部

1. 学校見学会の実施

日 時	平成 30 年 8 月 23 日(木) 13:30~16:10 1 体 13:30~ 2 体 13:50~
参加者数	1,550 名(実参加数) 申込数合計 1,623 名(中学生 998 名、保護者等 587 名)
参加者推移	H29:1,438(2 会場)、H28:1,414(2 会場)、H27:1,404(2 会場)、H26:1,210(1 会場)
内 容	全体会 60 分(学校紹介 VTR、学校生活の説明、奨学金説明、ホンネトーク 20 分) 第 1・2 体育館で全体会を実施後、自由参加で校舎施設・部活動公開を行い、合わせて質問コーナーを設けました。
配布物	『大好き！西高 2019』(2,200 冊作成)



1,195 名が入場した第 1 体育館



ホンネトーク

今年度は久しぶりに参加申込数が 1,600 名を超えたこと、例年より高い 95.5% の出席率だったことが特徴でした。市内中学校が夏季休業中に実施していますので暑さが課題の時期ですが、参加者の出席も良く、ほぼ予定通りにプログラムを進行できました。親子が一緒に参加する形態ですので、参加者数が多くなりますが、一緒に参加することのメリットを重視しています。

2. 中学校訪問について

実施期間	平成 30 年 7 月上旬(西高祭準備期間中)
訪問先	今年度入学生がいる中学校を中心に 39 校を訪問

訪問先中学校卒業生の本校での様子や現中学 3 年生の志望動向等の情報交換を行っています。生徒や保護者の口コミ情報は影響力が大きいです。(以下は中学校の先生とのやり取りの一部)

- ①先輩たちの情報で、西高にあこがれる中学生が多い。
- ②人気が高く、入試倍率が高いのがネック。ダメなときは私学へという強気な考えもある。
- ③進学校でありながら、部活動や行事が盛んな学校。「充実した高校生活を送らせている。」という印象。
- ④西高は医療系人材の育成や国際交流など、多様な行事を行い、明るく活動的な生徒が多い。
- ⑤東西南北を志望する中学生は学校見学会やそのパンフレットをよく比較をしている。
- ⑥学校見学会の形態については、保護者がどう判断するかも重要で、見学会の最中・事後に子供と親の視点をすり合わせる事が出来るので、子と親と一緒に参加出来る方が好ましい。

3. 西高HPの活用・充実

緊急連絡などの対応が可能になった現行 HP は 3 年目で、順調に運用していますが、9 月の震災による大停電には全くの無力でした。緊急連絡に関しては別の方策を検討中です。

さて、記事の更新回数を多くすることで、タイムリーな情報を発信し、学校の様子や生徒の活動・活躍について紹介していますので是非ご覧ください。